

【デジタル田園都市国家構想】

2022年6月「デジタル田園都市国家構想基本方針」が閣議決定され、12月には新たな総合戦略である「デジタル田園都市国家構想総合戦略」が閣議決定されました。

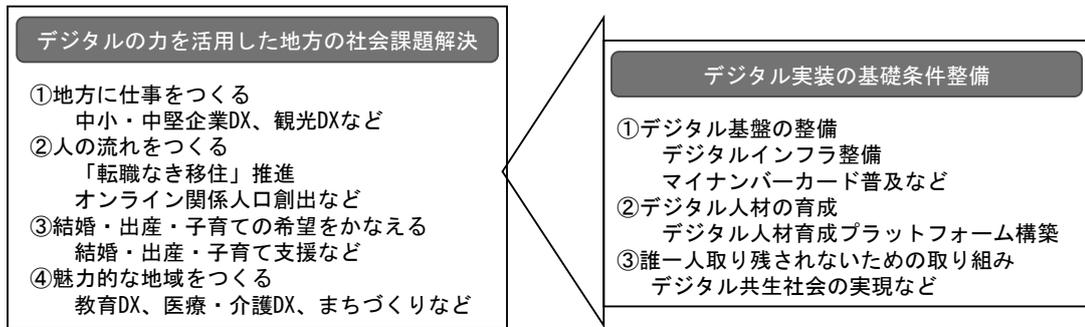
今回は、「デジタル田園都市国家構想」について説明します。

1. デジタル田園都市国家構想とは

デジタル田園都市国家構想とは、「全国どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会」を目指し、人口減少と少子高齢化、過疎化と東京圏への一極集中、地域産業の空洞化といった社会課題をデジタル技術の活用によって解決し、地方活性化を加速させるための取り組みです。県内では会津若松市が交付金事業の採択を受けています。

2. 施策の方向性

東京圏への過度な一極集中の是正や多極化を図り、地方に住み働きながら、都会に匹敵する情報やサービスを利用できるようにすることで、地方の社会課題を成長の原動力とし、地方から全国へとボトムアップの成長につなげるための総合戦略です。



3. KPI（重要業績評価指標）

総合戦略では、構想実現に向けて施策ごとに2023年度から2027年度までの5カ年のKPI（重要業績評価指標）とロードマップ（工程表）が位置付けられています。地方はそれぞれが抱える社会課題などを踏まえて、地域の個性や魅力を生かす地域ビジョンを掲げた「地方版総合戦略」の策定に努め、国は政府一丸となって地域ビジョンの実現に向けた地方の取り組みを総合的・効果的に支援していくとしています。

デジタル実装に取り組む地方公共団体を、2024年度までに1,000団体、2027年度までに1,500団体とすることを柱に、構想実現に向けた新たなKPIが設定されています。

主なKPIの例

- ◇光ファイバーの世帯カバー率：99.9%（2027年度）
- ◇5Gの人口カバー率：95%（2023年度）、97%（2025年度）、99%（2030年度）
- ◇3D都市モデルの整備都市：500都市（2027年度まで）
- ◇地域限定型の無人自動運転移動サービスの実現：100カ所以上（2027年度まで）

閑話ひとつ

- ▶お正月の縁起物の一つの干し柿。
- ▶福島県の干し柿といえば、昨年誕生100周年を迎えた伊達地方のあんぽ柿が有名だ。そのやわらかいオレンジ色のぷっくりとしたあんぽ柿は見ただけでおいしさが想像でき、思わず笑顔になってしまう。
- ▶毎年、親戚が自家製のあんぽ柿を送ってくれるので楽しみにしている。届いて最初のころの柔らかいあんぽ柿と軒下につるしておいて身がしっかりしたあんぽ柿と、変化を楽しみながらおいしく頂いている。
- ▶歴史ある、伝統食のあんぽ柿。残り少なくなってきたが大事に食べたい。 (A N)